

活動報告書



2019年4月→2020年3月

認定NPO法人アンビシャス
沖縄県難病相談支援センター

ACTIVITY REPORT 2019



■理事長・副理事長からのご挨拶

難病患者よ大志を抱け 難病患者の自立を支援します。

An intractable disease patient
be ambitious!
We will help you to become independents
from your sickness.

私たちアンビシャスは2019年度も難病をお持ちの方や支援者への相談や支援など充実した活動をすることが出来ました。これもご支援をしてくれた方々のおかげで出来た活動内容でした。この場をお借りして御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）という未曾有の感染症に伴い、被害に遭われた方々には謹んでお悔やみを申し上げます。医療や介護現場、在宅で療養されている方々は不安の毎日をお過ごしと思われます。感染症は難病ではありませんが、難病を持つ方の不安解消についてはアンビシャスの重要な役割ですので、是非ご相談ください。

アンビシャスは、沖縄県から委託事業として平成17年から行政との協働事業として、県内はもとより県外での難病支援に対する活動を推進することが出来ています。特に地域の難病支援を担う保健所や拠点病院との連携においても、それぞれの強みを活かせています。

難病を抱え、そのストレス悩みの相談と就労支援を基本とし、難病の中でも最も支援が必要な人工呼吸器装着者及び小児については、介護やコミュニケーション方法、非常時電源確保についての支援は、まだまだ満足いく内容とはいえませんが、スタッフのスキル向上と環境整備を怠らず推進していくものであります。

皆様からのご支援は、私たちアンビシャスの難病支援活動を可能にするのみならず、今も援助を待つ方々により広域に専門性の高い相談と支援を向上させるものです。

今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



認定NPO法人
アンビシャス
理事長

迫 幸治
Yukiharu Sako

President
Non-Profit
Organization
Ambitious



認定NPO法人
アンビシャス
副理事長

照喜名 通
Toru Terukina

Vice-President
Non-Profit
Organization
Ambitious

■2019年(年度)事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

認定NPO法人アンビシャス

I 事業の成果

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族から、療養や日常生活での悩み、不安等の相談を受け、その解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談と支援を心がけた。また「患者力」の向上を目指し各種講演会、研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目的に下記事業を行なった。

1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

① 沖縄県からの委託事業

2005年から受託。委託事業の他、各委員会の委員として参画した。

A) 県(地域保健課) 「難病相談支援センター事業」(委託事業)

(2019年度 相談件数 延べ1,313件…詳細4頁参照)

B)「難病医療連絡協議会」(委員)

② 沖縄県補助事業

「人工呼吸器用外部バッテリー等(発電機含む)貸与事業」(補助事業)

2012年度より受託開始、2014年度より小児慢性特定疾患の貸与事業も受託。

(2019年度貸与件数 成人5件、小児15件／累計：成人97件、小児92件)

③ 患者会支援

新たな患者団体の立ち上げ協力や、運営上のサポートを行う。

A)新規立ち上げ支援：今年度の新規は無いが、準備段階が4疾患ある。

(原発性胆汁性胆管炎、HTLV-1関連脊髄症、下垂体系疾患、神経線維腫症)

B)会報誌やWEB等で患者会の広報と開催日等の告知支援を行っている。

C)「顔の見える関係づくり」と題し、各患者会のリーダーが集い、情報交換会を企画した。

(第5回目 中止)

D)患者団体のリーダーのスキルアップとして、「ピアサポート」をテーマとした学習会を「ヘルスケア関連団体ネットワーキングの会：略VH0-net」(ファイザー株式会社支援)と連携している。今年度は会費や助成金以外での「資金調達」をテーマに講演した。

④ 各種関係機関との連携、他

A)各保健所との協力。難病に関する情報交換、連携活動、患者会設立支援を行った。

B)就労支援ではハローワークや職業能力開発校と定期的な連携会議等を行った。

ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談会を企画開催した。

C)医療機関とは難病に関わる支援従事者の勉強会を通じて相互のスキル向上を図った。
人材育成では看護専門学校2校の授業講師派遣及び実習生を受け入れた。

D)難病医療相談会として、膠原病系、循環器系、肝臓系、神経系、消化器の専門医による相談会を開催した。下垂体系、腎臓系は告知するも応募無し。

E)沖縄国際大学の上田幸彦教授を講師としメンタルヘルスに関する研修を実施した。

■2019年(年度)事業報告書

「沖縄指笛」の陶器製品の製造を難病患者に依頼し、より多くの難病患者に収入を得てもらえるように、製造道具の向上、研修実施、販売促進を努めている。

今年度の特徴としては、難病患者の在宅就労支援の充実として、クラウドファンディングを企画し、多くの資金が集まり、必要な備品等の購入が出来た。また、マスコミで取り上げられたことで、難病に関する周知啓発と支援への理解を広めることができた。

【クラウドファンディング】支援者件数:159件、支援総額:1,172,000円

【助成金】

ファイザー株式会社(VHO-net会議時、旅費交通費精算支援)15回 計:579,959円

【ホームページ、会報誌協賛広告】『順不同、敬称略』

(HP)アステラス製薬、全保連株式会社、岡野法律事務所、ファイザー株式会社

(会報誌)全保連株式会社、沖縄トヨペット株式会社、土地家屋調査士(伊波学)、みくに株式会社
琉球ゴールデンキングス、株式会社クオサ、大塚製薬株式会社、首里城下町クリニック

【今年度寄付計】寄付件数:95件、寄付合計額:2,843,640円

【会員数】正会員:13名、賛助会員:297件(個人180名、法人117団体) / 合計310会員

【患者団体】沖縄県内患者団体:17団体、患者会会員数合計:約640名

2019年度事業計画(2019年4月1日～2020年3月31日)

認定NPO法人アンビシャス

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)(税抜き)
1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	①沖縄県委託事業 ②沖縄県補助事業 ③患者会支援等 ④各種関係機関連携	通年	事務局 又は 各自宅等	①3名 ②3名 ③4名 ④4名	①相談件数:1,313件 ②貸与件数:20件 ③広報支援:17団体 連絡協議会:20名 ④医療相談会5回12組 看護学生実習:19名 機器等貸出: 104件	16,692 (内県委託 8,192)
2) 障害福祉サービス事業	沖縄指笛製作	通年	事務局	4名	延べ45名	619
3) 難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	①広報活動(会報誌発行、ホームページ他) ②世界難治性希少疾患の日	通年	事務局	5名	①会報誌読者 延べ18,000部 ② 0名(延期)	2,369
4) その他目的を達成するための事業						

支出額計 19,680

○難病相談支援センター事業（県委託）

1. 利用時間

平日 10:00 ~ 17:00
土・日・祝祭日 休み

2019年度

2019年4月1日～2020年3月31日

(注) 事業内容に応じて利用時間が相違する場合には、それぞれ記載すること。

2. 従事者内訳

*県委託相談員3名

	職 種	配置人員	備 考
難病相談・支援員	ピア・サポーター・相談支援専門員	1	相談事業、就労支援、研修会開催、啓発活動 1名：（産休・育休6か月）
	社会福祉士	1	
	社会福祉士・精神保健福祉士	1	
計		3	

(注) 備考欄には、従事者の職務内容を記載すること。

3. 活動内容

(1) 相談者、相談方法別相談件数（延べ件数） (件)

事 項	相 談 者			
	患 者	家 族	そ の 他	計
電 話	323	105	445	873
面 接	100	20	32	152
メ ー ル	36	9	179	224
そ の 他	20	23	21	64
計	479	157	677	1313

*相談件数の「その他」は、支援者、患者会、友人・知人など、患者、家族以外全て。

*発電機等導入を除く。

(2) 相談者別、相談件数が多い疾患（上位5つ） (件)

	順位	疾 患 名	延べ件数
患 者	1	【指】網膜色素変性症	55
	2	【指】潰瘍性大腸炎	31
	3	【指】パーキンソン病	29
	4	【指】混合性結合組織病	28
	5	【指】多発性硬化症/視神経脊髄炎	25
	5	【指】重症筋無力症	25
家 族	1	【指】筋萎縮性側索硬化症	52
	2	【指】多系統萎縮症	10
	3	【指】全身性エリテマトーデス	7
	4	【指】パーキンソン病	6
	5	【指】クローン病	4
	5	【指】特発性間質性肺炎	4
	5	【指】神経線維腫症	4
そ の 他	1	【指】筋萎縮性側索硬化症	167
	2	【指】筋ジストロフィー	16
	3	【指】パーキンソン病	15
	4	【指】潰瘍性大腸炎	13
	5	【指】多系統萎縮症	12

*平成27年（2015年）から難病の法律が施行されたのをうけ、指定難病の名称前に、【指】と表記し指定難病以外と区別している。

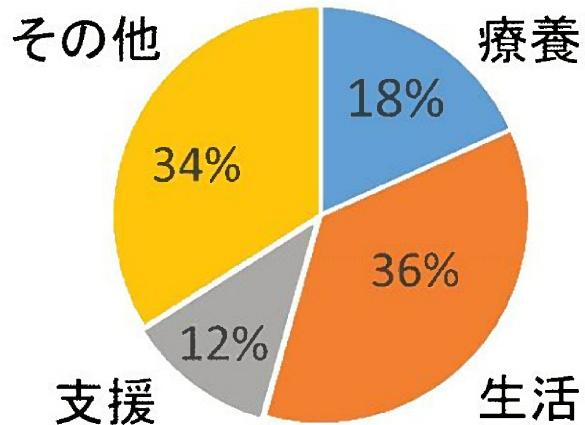
沖縄県難病相談支援センター

2019年4月1日～2020年3月31日

相談対象者の相談内容件数（重複カウント）

延べ件数		n= 1871
相談内容（重複カウント）		件 %
療養		342 18.28
受療	196	10.48
病気の理解	80	4.28
治療法の選択の意思決定	42	2.24
治療計画	11	0.59
医療機関・医師	49	2.62
療養場所	14	0.75
疾病自己管理	146	7.8
症状管理	20	1.07
栄養・代謝管理	1	0.05
医療処置管理	12	0.64
薬物療法	1	0.05
コミュニケーション方法	95	5.08
日常生活動作	17	0.91
生活	675	36.08
療養環境	293	15.66
保健・医療・福祉	48	2.57
療養生活全般	229	12.24
家族	16	0.86
生活	382	20.42
経済	52	2.78
学業	6	0.32
就労	324	17.32
体調の調整	87	4.65
労働条件	35	1.87
難病に対する理解	22	1.18
就労活動	110	5.88
就活で利用できる制度	45	2.41
その他	25	1.34
支援	218	11.65
療養生活支援態勢	186	9.94
支援方法	32	1.71
その他	636	33.99
事業	447	23.89
センター事業関係	447	23.89
患者交流促進	59	3.15
当事者活動への支援	59	3.15
その他	130	6.95
その他	130	6.95

区分件数上位5位を「太字」で表記



○難病情報提供事業

会報誌お表紙を飾った、難病を持つ素晴らしい仲間たち

(体験談のバックナンバーはウェブで参照可能)

膠芽腫（こうがしゅ）

無脾症候群（むひしようこうぐん） 再発性多発軟骨炎（RP）患者会代表

クローケン病



慢性炎症性脱髓性多発神経炎



ALS（筋萎縮性側索硬化症）



多系統萎縮症



クローケン病



原発性胆汁性胆管炎 他



黄斑部変性症



全身性エリテマトーデス



パーキンソン病



各月の詳細報告は、次のページから12か月分（4月～3月）掲載しています。

4月の報告

あれこれ

難病周知活動における
那覇看護専門学校での授業



いることについてお話しさせて頂いております。

近い将来看護師として現場で活躍された際に難病の方と接する機会もあることと思います。その時に難病の方の良き理解者として接して頂けるように、微力ではありますが授業や実習への協力をさせて頂いております。

ハローワーク 出張就労相談会

今年度もハローワーク那覇より難病患者就職サポーターをお招きし、出張就労相談会を開催致しました。昨年度は7回開催し、11名の方がご相談にみました。出張相談会に参加され、その後就職が決まった方もいらっしゃいました。

ハローワークの窓口では、混んでいて待ち時間が長いことや、なかなかゆづくり話をすることが難しいといった声をお聞きしますが、出張就労相談会ではお一人1時間ゆづくりとお話しをすることが出来ます。「就職活動の際に病気を開示した方が良いだろうか?」「他の方はどうのような働き方をしているのか?」など、これから就きた中で感じたことや気を付けて



職活動を始めようとしている方や、治療をしながら働いている方からご相談が多くあります。また当事者の方だけでなく、企業の方から難病のある社員の雇用管理や配慮事項についてのご相談もありますが、授業や実習への協力をさせて頂いております。

した。

今年度も原則第3火曜日14時から16時までの各1時間2名の開催になります。難病の方の事例や、就職活動を行う上でのポイント、病気の開示・非開示についてなど、様々な情報が得られることと思います。仕事についてお悩みの方、ぜひお気軽にご相談ください。

原発性胆汁性胆管炎(PBC)患者・家族の集いの支援

4月22日に原発性胆汁性胆管炎の患者家族の集いを開催しました。遠方からお越しの方も含め、5名の方が参加され、現在の状態、内服している薬のこと、これまで試した治療法、不安に感じていることや趣味などの生きがいなど、皆さんのがい日々感じていることをそれぞれ話していただきました。2時間という限られた時間の中、様々な意見が飛び交い、同じ疾患の方と顔を合わせながら語り合う貴重な情報交換の場になりました。

年に1度開催していた交流会も今回で3回目となり、アンビシャスで主催する患者交流会の自主運営に向けたスタートアップ支援は今回までとなります。今後は会報誌や保健所からのお知らせなどを通じて疾患の理解を深めたり、情報を収集していくこととなりました。

毎年、那覇看護専門学校で3年生を対象に在宅看護論の一環として難病について講義をしています。今年は4月11日に3クラス各90分間の授業を行いました。授業では、難病に関する法律や制度の説明、また相談員として関わってきいた中で感じたことや気を付けて

5月の報告

あれこれ
イエローレシート贈呈式

次回、再エントリーの機会も頂けるとのことで、2020年度には復帰できるよう、今まで以上に難病支援事業に取り組んで参りたいと思います。イオン琉球株式会社様、またイエローレシートを通じ、ご支援を頂いた皆様の長年のご厚志に改めて厚く御礼申し上げます。

今年度の看護実習がはじまりました

今年度も那覇看護専門学校、ぐしかわ看護専門学校の看護実習が始まりました。アンビシャスでは、毎年5月から11月にかけて看護学生さんを受け入れ、在宅看護実習を行っております。

実習では、これから医療の現場で働く学生さんに難病のことを知つてもらう貴重な機会とすることもあり、

難病に関する法律や制度、在宅支援に関連する緊急時の電源確保策の紹介、意思伝達装置などのコミュニケーション支援について説明させて頂いております。その中で最も力を入れているのが、患者さんと接する際に基本となる「傾聴・共感」です。事例を用いたロールプレイを行い、相談を受けける際の姿勢を学んでもらっています。

医療の現場で難病の方々と関わる機会は少ないかもしれません、難病を持つ方々の良き理解者として、医療機関から漏れてしましましたが、お客様に深く感謝申し上げます。

残念ながら2019年度はエントリー団体からは漏れてしまいましたが、

現場で活躍されることを願っています。

日本神経学会学術大会にて
ポスター発表

沖縄での難病センターは、難病医療拠点病院としての沖縄病院をはじめ県、保健所などとの連携が密であると思います。

沖縄病院では諫訪園秀吾医師を中心

に色々な調査研究をしていますが、昨年から沖縄県における筋萎縮性側索硬化症（ALS）の呼吸管理と在宅療養の調査を各保健所とも連携し、まとめた内容を発表してきました。大変興味深い調査結果に会場からの質問も活発でした。調査結果の詳しい内容は別途ご案内しますが、今後も難病相談支援において有意義な内容ですので継続していきたいです。

第18期総会

2018年度アンビシャス第18期定期総会を5月27日に開催、昨年度の事業報告・予算計画の審議及び報告を行いました。昨年度も数多くの皆様のご支援のもと、充実した難病支援活動が展開できました。ご支援を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

医療の現場で難病の方々と関わる機会は少ないので、難病医療相談会（無料）の他、患者ご自身のメンタルをセルフコント

ロールする「メンタル・ヘルス講座」や患者さん同士でケアし合う「ピア・サポート養成講座」の充実に注力しました。また2016度よりハローワーク那覇の難病患者就職サポートナーによる、出張就労相談を毎月行い、難病をお持ちの方の就労相談にも努めています。

上記活動を含め様々な難病支援活動に取り組むことが出来たのも、賛助会員の皆様や多数の寄付をお寄せ頂いた皆様のご支援の賜物と改めて深く感謝申し上げます。（活動報告の一部を今月号に掲載、詳細はホームページの団体案内、決算報告よりご確認をお願いします）



6月の報告 あれこれ

難病ピア・サポートー
養成研修



サポートーとしての心構えを学ぶ貴重な機会となりました。

参加された方からは、「みんな病気をもつておらず、根本的につながっている。分かり合えているという感じがした。仲間意識が芽生えた」、「引いて関わることの大切さ、距離感を学んだ」、「学んでも学びづくせない。また参加したい」、「病気になつて初めて前向きになれた。一步前進できた時間。あつというまだつた」という感想が聞かれ、仲間を支えるスキルを学ぶとともに自分自身の気づきにもつながつたようです。

貴重な研修内容を提供してくださりました、伊藤智樹先生、後藤清恵先生に深く感謝申し上げます。

保健師向け「災害・コミュニケーション支援研修会」

6月13日に南部保健所を会場に、

今年度新たに難病担当になつた保健師を対象に、重症難病療養者の「災害対策・コミュニケーション支援」についての研修会を開催致しました。

6月13日に南部保健所を会場に、忙な時期にも関わらず、20名近くの保健師の方がご参加下さいました。研修会を通して学んだ非常時における対策やコミュニケーション支援の方法など今後現場で活かしていただければ幸いです。



6月29日に難病当事者を対象に難病ピア・サポートー養成研修を開催しました。当研修は厚生労働省難治性疾患政策研究事業の一環として企画され、富山大学の伊藤智樹先生、新潟病院の後藤清恵先生を講師にお招きし、「仲間と支えあい、自分も成長する」をテーマにピア・

期、また台風の発生する前のタイミングで毎年この研修会を開催しております。

昨年度は大型台風により長時間の停電を余儀なくされた地域や、県外でも土砂災害など自然災害が多発しており、災害対策の重要性が高まつてきていると感じています。また、コ

ミュニケーションの方法について、いろいろな方法があることを事前に知つておくことにより、利用者との会話の中で生かしてもらう事を目的とし、透明文字盤・口文字・レツチチャットなどのコミュニケーション機器を実際に触つて体験してもらいました。

当日は指定難病の更新前の多くの保健師の方がご参加下さいました。研修会を通して学んだ非常時に、それぞれの機関が持つ役割や活動内容、課題などが話し合われ、顔を合わせて集まる機会を設けることにより、情報交換や課題解決に向けて関係機関が迅速に対応できるような連携体制を構築することの重要性を感じました。

毎年、県内各ハローワークにて障害者雇用連絡会議が開催されていますが、アンビシャスも本島内の3か所の連絡会議に参加させて頂いています。

ハローワーク障害者雇用連絡会議への参加

ハローワーク、労働局、障害者職業センター、障害者・生活支援センター、職業能力開発校、特別支援学校など多くの関係機関が一堂に会し、障害者雇用について意見交換を行いました。

それぞれの機関が持つ役割や活動内容、課題などが話し合われ、顔を合わせて集まる機会を設けることにより、情報交換や課題解決に向けて関係機関が迅速に対応できるような連携体制を構築することの重要性を感じました。

7月の報告 あれこれ



相談員が参加されており、今年度は「難病患者の就労・両立支援での関係機関・職種の役割や連携のあり方を考える」というテーマで開催されました。

難病という希少な疾患だからこそ、共有できる人やモノが限られており適切な場所や情報へとつなぐ役割が相談員に求められていること、その役割を發揮するために専門職として日々研鑽を積むことの重要性を再認識する機会となりました。

今回のワークショップを通して、難病相談支援センター間の情報交換を行うことができました。相談支援のスキルアップのために、今後も継続してこのような研修に参加していきたいです。



7月の寄附

7月5日に東京にて開催された「難病相談支援センター間のネットワークシステム構築のためのワークショップ」に相談員2名で参加しました。このワークショップは公益財団法人難病医学研究財団の主催で毎年開催されており、全国の難病相談支援センターの相談員を対象とした研修です。当日は全国から34名の

「ジャンボ・サンシャイングループ様の「サンシャインゆいまる」プロジェクトより今年度の第1クールの寄附として12万円余りの寄附を頂戴しました。同プロジェクトは県内で活動する社会福祉団体などに、その活動を支援するため寄附先をお客様に選んで頂く、お客様参加型の社会貢献活動として行つてあるものです。このプロジェクト

非常時電源確保の説明

アンビシャスでは、人工呼吸器装着で療養されている方を対象に、県の補助事業である沖縄県非常時電源確保事業を請けています。各家庭に担当保健師と同行で個別訪問をすることは他府県ではあまり無い様ですが、災害時の基本的な考え方や、電池や発電機の利用者へ説明をするとともに、担当保健師との情報共有は重要なことと考へています。

基本的に防災に関する説明で一時

のスタートより今回で累計40万円近くの寄附をご寄贈して頂いています。また首里城下町クリニック第1・第2様と理事長田名様より合わせて9万円の寄附を頂きました。

難病情報誌の毎月発行、難病に関する勉強会等、難病支援活動を維持継続していく上でこれらの寄附は貴重な原資となっています。ジャンボサンシャイングループのスタッフの皆様、そしてご投票いただいたお客様、首里城下町クリニックの皆様、誠にありがとうございました。皆様のご厚志に応えるためにも、難病支援活動へ更に取り組んでまいりますので、今後ともご支援の程よろしくお願ひします。



間、使用している機器の消費電力測定で一時間、合計二時間を申請前の事前説明としています。その事前説明は今年度15件、7月だけで8件でした。発電機設置は別途3件あり、夏場は台風が近づくので、要望も多くなります。台風が発生するだけで気圧のせいか体調が悪くなる小児や病院などに避難すると体調悪化する場合もあれば、自宅で待機したが、停電になつて体温調整が出来ずに体調悪化するケースもあり、なかなか有効な対策が無いのが現状ではあります。が、停電になつても、なるべく自宅で家族と一緒に安全に過ごせる環境に近づけるよう支援していきたいです。

8月の報告

あれこれ 団体のリーダーが 集い学ぶ場



ヘルスケア関連団体ネットワー
キングの会（VHO-netと略す）
のワークショップが8月23日、24
日に開催されました。VHO-net
とは、疾病や障がいが違つても共
に協力し、共に議論し、保健・
医療・福祉の質の向上を目指し
ていく団体で、各団体のリーダー

や医師をはじめ保健医療福祉関
係者で運営しています。学習会の
会場費やそれに参加するための交
通費は製薬会社のファイザー（株）
が社会貢献活動の取り組みとして
支援をしています。

ワークショップは毎年1回全国
のリーダーなど50名ほどが集い、
テーマに沿つて基調講演を行い、
分科会、グループ発表、全体討
論の日程で進行します。経験や立
場の違いで発言の内容も異なりま
すが、否定や批難は避け、テーマ
に沿つて建設的に議論します。そ
れぞれの地元に帰つたあとに、ど
うやって活かしていくのか各自で
考えて成長していきます。

第19回になる今年のテーマは
「実践から学び活用できる資金調

達」とし、佐賀県の三原睦子氏
と沖縄からは照喜名が発表させて
いただきました。全国的に会員数
が減少傾向にある患者会などは、
助成金頼りになりがちですが、「新
たに寄付金を募るためにはどうす
ればよいのか」という事例発表と
なりました。これからも、共に学
び互いに成長できる仲間を増える
ことを期待したいです。

そこで、ボランティアを希望さ
れた、比嘉茂幸さんが定期的に
来所してクリーンアップしてくれ
ています。しかしながらソリンを入れ
たまま放置したため、エンジンが
故障してしまったものもあり、エ
ンジンまでは修理することが出来
ないので、修理が出来る方を別
途募集いたします。どなたか修
理可能な方、ご協力をお願ひ致
します。



アンビシャスでは、沖縄県の貸
与事業で発電機等の貸与をして
いますが、不要になつたり、故障



した発電機が
戻ってきます。
その発電機を
有効に再活
用するためには、マフラー
やプラグなど

9月の報告

あれこれ

QAB、OTV、FM宜野湾、ラジオ沖縄の取材



ありました。

実際、今回のプロジェクトを通じ難病への理解が深まつたと感じます。特にインタビューにも応えてくれた大城かおりさんは、勇気を出して取材に応じ、自分と向き合うことで新たな夢に向かう機会になりました。

難病について沖縄指笛を通じ、メディアの方々から分かりやすく伝えることが出来ました。ありがとうございます。

台風等による停電時の対応策

9月の台風15号は関東地方、特に千葉県においては長期間の停電や強風による屋根の損壊等、甚大な被害をもたらしました。沖縄県も毎年台風の通り道となり、そのたびに各地で停電が起ります。そのたびに各地で停電時にいかに対処するか、特に人工呼吸器装着で在宅療養をされている方にとつては重大な問題です。

今回の取り組みは、難病の就労」と「生きがい」を叶える待望の沖縄指笛をアップデートしたい!」を地元メディアが取り上げてくれました。

このプロジェクト「難病患者の「在宅就労」と「生きがい」を叶える制作に関わる難病の方が、効率的に多くの収入が得られる様により多くの収入が得られる様

人工呼吸器装着で療養中の方を訪問時、停電を含め非常時の電源確保策の説明をさせていただいている。訪問時には可能な限り人工呼吸器やその他、使用されている機器の消費電力を計測し、いざという時、使用する補助電源がどれだけの機器を動かせ、何時間使用できるのかを示し、その対応策を一緒に考えさせていただいています。

停電になつても、なるべく安全で家族と一緒に安全に過ごせる環境に近づけるよう支援していきたいです。



人工呼吸器の消費電力を計測中

10月の報告

あれこれ



医療相談会 (神経系疾患・循環器系疾患)



普段の外来では診療時間も限られ、ゆっくりと主治医の先生とお話しをすることが難しく、心配なことがあってもつい聞きそびれてしまう事が往々にしてあります。また自身の病状について他の先生の意見も聞いてみたい、というご希望がおありの方が少なからずいらっしゃいます。アンビシャスでは毎年そのような方の不安を少しでも解消する目的で、いくつかの疾患ごとに専門医のご協力を頂き「医療相談会」を行っています。



10月11日に国立病院機構沖縄病院の渡嘉敷崇先生のご協力を頂き神経系疾患、10月13日に琉球大学附属病院の當間裕一郎先生のご協力を頂き循環器系疾患の医療相談会を実施致しました。

アンビシャスで行っている医療相談会は、主治医からの紹介状などは必要なく、無料でお一人30分じっくりとご相談が出来ます。しかし30分あるとはいえ限られた時間を有効に活かすため、相談したい内

容を整理して頂く事と、日々の検査結果やお薬手帳、臨床調査個人票をご持参して頂いております。医療相談会に参加された方からは、「他の医師のお話を聞くことが出来て良かった。主治医の先生にしっかりと症状を伝え、話し合う場を設けてもらうようにお願いしてみたいと思う。」「リハビリについての情報を得ることが出来てよかったです。主治医と相談してみようと思う。」と話されていました。

12月には、消化器系疾患、下垂体系疾患、肝臓系疾患の開催を予定しております。医療相談会をご希望の方は、アンビシャスまでご連絡ください。

メガネ一番様よりの寄附

10月17日メガネ一番様より、創業32周年記念チャリティゴルフコンペの収益金と、県内21店舗のお客様より寄せられた募金より40万円近くのご寄附を頂戴しました。

メガネ一番様には平成22年より毎年創業祭に合わせこの様な



多額のご支援をいただきいてきました。
10年間の累計で実に372万円余りのご寄附を頂戴しています。

メガネ一番様、並びにチャリティーコンペを通じご支援をいたいた皆様のご厚志に深く感謝申し上げます。私共はこのご厚情に対し、難病支援活動を更に充実させることでお応えして参りたいと決意を新たにしています。

11月の報告

あれこれ



回沖縄学習会) を浦添のてだこホールで開催しました。

VHO-netではファイザー様の

ご支援を受け、患者団体・障がい者団体・家族団体・支援者団体などのリーダーや医療福祉関係者が、疾病や障がい、立場の

違いを越えてフラットにつながり、より良い医療の実現や生活の質の向上を目指してお互いの体験や知恵、情報を共有し、課題の解決に取り組むことを目的に定期的に勉強会を行っています。

今回の学会発表では就労をテーマにパネルディスカッションも企画され、アンビシャスへのご指名をいただき、就労の事例発表をさせてもらえる機会となりました。

発表では、難病を持つ方への就労支援として「沖縄指笛」の製作や難病情報誌「アンビシャス」の体験談や各コーナーへの原稿代等も含め、これまでアンビシャスで取り組んできた沖縄における事例を発表させて頂きました。

また県内の学習会では、11月10日にヘルスケア関連団体ネットワーキングの会 VHO-net(第36

学会発表や学習会への参加

AWWA(米国福祉事業協会)様ご来所

11月13日にAWWA(米国福祉事業協会)のトレイシー・スティール会長他7名のメンバーにお越し

いただきました。 AWWA様には難病情報誌のカラーバー化をはじめ、「沖縄指笛」の再開にあたり電気窓の購入費等、これまでに様々なご支援をいただいています。改めて深く感謝申し上げます。

当日は実際に「沖縄指笛」の製作に携わる方にも加わっていたとき、引きこもり気味だった当時たまたま保健所で手にした難病情報誌、そしてアンビシャスとの出会い、「沖縄指笛」の製作に関わることで前向きになれた様子を語って頂きました。AWWAの支援による電気窓の支援が具体的に役立っている事例にメンバーの皆さんも感動され、納得された様子でした。

今年からAWWAの頭文字はそのままに「米国福祉事業協会」という名称に変更されています。奉仕の精神に基づく「寄付文化」と共に「男女平等」という意識が深く根付いていることがうかがえました。



因みに同会は昨年まで「米国婦人福祉協会」という名称でしたが、会員には男性もあり「男性差別ではないか」との声を受け、

12月の報告

あれこれ



医療相談会（肝臓系疾患） (消化器系疾患)



談会をそれぞれ実施しました。

医療相談会では、病気に関する情報、治療方法、日常における注意点などについて、無料でお一人30分じっくりとご相談が出来ます。事前これまでの病歴や治療歴、先生にお聞きしたい内容についてお話しをお伺いし、

当日は検査結果やお薬手帳、臨床調査個人票をご持参して頂く事で、充実した相談を受けられるよう心がけています。

医療相談会に参加された方からは、「定期的な検査が大事であること、日常生活におけるア

ドバイスなどを聞くことが出来て良かった。」「専門医の話を聞くことが出来て良かった。難病と言われ不安でいっぱいだったが、少し気持ちが軽くなつた。」等の感想を頂きました。

今年度の医療相談会も残すところあと1疾患となりました。

3月9日に膠原病系疾患の開催を予定しております。ご希望の方はお早めにアンビシャスまでご連絡ください。

ライオンズクラブ様 よりご寄付

12月17日（火）首里キャッスルライオンズクラブ様より5万円のご寄付を頂戴しました。ライオンズクラブ様にはクリスマス前のこの時期に毎年継続してご支援を頂いています。首里キャッスルライオンズクラブの会員の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

皆様の寄付に託されたアンビシャスへの期待に応えられるよう、



私たちのはしつかりと足元を見つめ難病支援活動に邁進して参ります。皆様からの御淨財は、この会報誌の作成費用やその他支援活動に充てさせて頂きます。

12月6日に琉球大学附属病院の前城達次先生のご協力を頂き肝臓系疾患医療相談会、翌週の12月14日には浦添総合病院の金城福則先生のご協力を頂き消化器系疾患の医療相

1月の報告 あれこれ



難病とのつきあい方！

セルフコントロール研修会

アンビシャスでは今年も沖縄国際大学の臨床心理士・公認心理師である上田幸彦教授を講師にお招きし、ストレスとは何か、

ストレス対処法の実践を学ぶ場

として、「難病とのつきあい方、
こころとからだのセルフコントロール」を1月から3月にかけ3回に分け開催、その第1回目を1月15日に実施しました。

難病を抱えていても、病気によるストレス、病気以外のストレスにうまく対処することで心を安定させることが出来るようになります。さらには、必要な治療に積極的に取り組めるようになり、生活の質を向上させることにもつながります。



4名の参加者には宿題として毎日自宅でもストレス対処法を実践してもらい、次回のセミナーで参加前と後の比較を行っていたります。3月のセミナー終了後、参加者それぞれに、どのような成果となつて現れるか今から楽しみです。

ドフルネス瞑想法を用いたストレス対処法の実践など今回を含め、3回に分けて、今後の療養生活で継続して実践方法を学んでいきます。

株式会社サンシャイン様 よりご寄付

1月29日、株式会社サンシャインの石川社長、比嘉課長代理がお越しになり、多額のご寄付を頂戴しました。

この寄付は2019年「サンシャインゆいまーるプロジェクト」の第2クールから、サンシャインのお客様のご投票によるものです。同社は2017年より「サンシャインゆいまーる」プロジェクトを実施し、県内で活動されている「NPO法人・ボランティア団体・学校・福祉団体」などの方々に対し、その活動のお手伝いとしてジャンボ・サンシャイングループ各店でお楽しみいただいているお客様にその寄付先を選んでいただく、お客様参加型の社会貢献活動を続けてこられました。

アンビシャスでは2017年より6回にわたり約80万円ものご寄付を頂戴しています。

ジャンボ・サンシャイングループのスタッフの皆様、そしてご投票いただいたお客様、誠に有難

うございました。

皆様のご厚志は私共の難病支援活動を行うにあたり、とても大きな力となります。大事に使わせて頂きますので、今後ともご支援の程よろしくお願ひします。



2月の報告

あれこれ

全国難病センター研究会



1月31日、2月1日の2日間、新宿文化クイントビルにて第33回全国難病センター研究会が開催され、相談員2名で参加しました。この研究会は、難病当事者の方や難病相談支援センター職員、各関係機関など、難病の方の支援や相談に関わる方を対象とした研究大会です。

今回は厚生労働省から難病法等の施行5年後見直しに関する状況についての発表や、臨床美術を用いた事例の報告、各患者団体での活動など幅広い内容の発表がありました。（※発表内容の動画はアンビシャスホームページ「難病情報」→「全国難病センター研究会」をご参照ください）

同研究会は例年、年2回開催していましたが、次年度は1回開催とし、沖縄での開催が決定しました。12月17日、18日に沖縄産業支援センターにて開催を予定しており、各関係機関の方々と



連携強化を図る良い機会にしたいと思つております。沖縄開催でもあり、ぜひ多くの地元の方のご参加をお待ちしております。

難病医療従事者研修会へ参加

2月12日に琉球大学附属病院にて開催された「難病医療従事者研修会」へ参加しました。沖縄病院に加え今年度より琉球大学附属病院が新たに拠点病院となつたことで、県内の難病医療体制がより強化されました。

ロータリーデー in OKINAWAへの参加

東京都内と沖縄県内の71ロータリークラブ（会員数・約3000名）が所属の国際ロータリー第2580地区の年次大会が沖縄で開催されたのを機に初めて那覇市内で「ロータリーデー」が開催されました。これはクラブと地域社会が絆を強め地域に貢献することを目的に行われたものでロータリークラブ様のご厚意で、



研修会では、県の担当者より医療費助成制度や今後の難病医療提供体制についてお話しがあり、その後お二人の医師より難病における地域連携や沖縄県における現状と課題の報告がありました。研修会には病院スタッフのみならず、地域で活躍されている訪問看護のスタッフの方々も多く参加されていました。研修会に参加し、難病患者の方々の支援における多職種の連携の重要性や沖縄県における課題などを考えるとても良い機会となりました。

今後も様々な研修会へ参加し、相談員としてのスキルアップに努めたいと思つております。

特設ステージでは学生たちによる舞踊や演奏の他、参加の各団体による、団体の紹介や活動内容のアピールの場も設けられました。なかなか一般の皆様へ直接、難病について話す機会が少ない私共にとり、大変貴重な時間を提供して頂いたロータリークラブの関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。また会場内では参加の各団体様やロータリークラブの会員の皆様とも貴重な情報交換ができとても有意義な一日でした。重ねて御礼申し上げます。

アンビシャスも展示ブースを設け、4 難病に対する理解を深めてもらう機会をいただきました。

3月の報告

あれこれ



令和元年度
こころとからだのセルフ
コントロール研修会終了

沖縄国際大学の上田教授のご協力を頂き、平成28年度に第1回目の「こころとからだのセルフコントロール」セミナーを開始から今年度で4回目のセミナーを、今年1月から3ヶ月コースで開催。今年度最後の研修会を3月14日に開催しました。

第1回目の15名のセミナーから、より個別研修に近くする目的で2年目以降から5名程度の少人数での開催とし、気になることや分からぬ事があつた場合など、先生に気軽に質問できる雰囲気となつております。全3回コースを通して「ストレスによる心と身体の状態」や「問題解決法」「マインドフルネス瞑想を用いたストレス対処法の実践」などを学びました。参加者からは「慣れるまでは難しく、ストレスに

なつていたが、毎日行つていくうちに物事の捉え方や人とのコミュニケーションにも良い影響があると感じられた。「研修会が終わつた後もぜひ続けたいと思う。」といつた感想があり、とても貴重な機会となりました。上田先生、ありがとうございました。

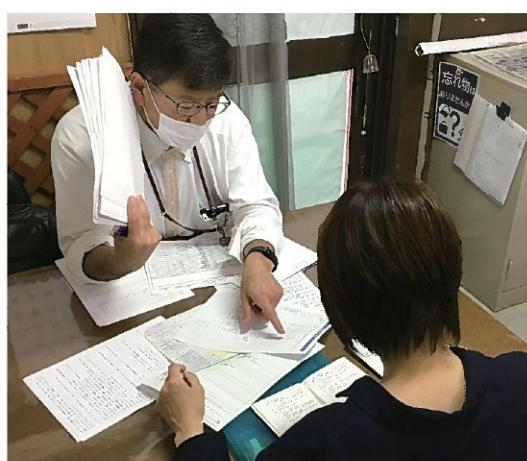
医療相談会（膠原病系）

3月9日に首里城下町クリニックの比嘉啓先生のご協力を頂き、今年度最後の医療相談会を開催しました。4組の方のご相談があり、参加された方からは「専門医の話を聞くことが出来て良かった。病気や治療法、生活面での注意点などについて話しを聞いて良かった。」「薬の副作用に悩まされて不安になつていたが、薬の種類や治療法がいくつかあることを知ることが出来て良かつた。」という声を聞くことが出来ました。

第1回目の15名のセミナーから、より個別研修に近くする目的で2年目以降から5名程度の少人数での開催とし、気になることや分からぬ事があつた場合など、先生に気軽に質問できる雰囲気となつております。全3回コースを通して「ストレスによる心と身体の状態」や「問題解決法」「マインドフルネス瞑想を用いたストレス対処法の実践」などを学びました。参加者からは「慣れるまでは難しく、ストレスに

催する予定です。日程が決まり次第、会報誌、ホームページなどで掲載いたしますので、ご希望の方はアンビシャスまでご連絡ください。医療相談会にご協力頂きました先生方、お忙しい中本当にありがとうございました。

医療相談会にご協力頂きました先生方、お忙しい中本当にありがとうございました。



FEC様募金箱より

沖縄を代表するお笑い団体FEC様から、公演時の受付設置のアンビシャス募金箱よりご寄付を頂戴しました。

このご寄付は、目のご不自由な方向けに難病情報誌「アンビシャス」の音声版をFECのマーちゃん

んが読み上げている縁で、FECの「定期公演会」や「お笑いライブ」等の受付に置かせていただき、会場にお越しのファンの皆様からのご寄付によるものです。

FECの皆様、誠にありがとうございます。

またFEC様には「笑いで病氣を吹っ飛ばせ」と毎月、定期公演の無料招待チケットをいただきしております、「ご希望の当事者の方へ差し上げています。なかなか外へ出る機会の無かつた方がお笑いの公演をきっかけに外出の機会が増えたとか、よく笑うようになつた」という声もお聞きします。

FECの皆様に改めて御礼申し上げます。



○活動報告 患者会支援

(県内患者会・交流会活動のご紹介)

2020年3月末現在

日本ALS協会沖縄県支部（筋萎縮性側索硬化症）

活動目的
沖縄県には、現在ALSの療養者が100人程います。その内人工呼吸器を装着している方が70人近くいます。最近は人工呼吸器を装着し在宅で生活する方が年々増えてきています。
ALS患者・家族のQOL（生活の質）向上のためには神経難病専門医や関係者（保健師、訪問看護師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、ヘルパー等）の協力が不可欠です。私たちはそのような関係機関と連携し、ALS患者のQOL向上を図っていきます。



活動内容

- ☆年1回 総会
- ☆患者・ご家族、関係者との交流を図る定例会の実施
- ☆治療に関する研究協力（任意）
- ☆署名活動

団体情報

- ◆連絡担当 島田 香代子
- ◆電話 090-3418-7982
- ◆設立年 2008年6月15日
- ◆会員数 33名（全国5,000名）

もやの会 沖縄県ブロック（もやもや病・ウィリス動脈輪閉塞症）

活動目的
同じような悩みを持つ患者・家族に対し、交流の場を提供し、病気が自分だけでないという共通意識と、悩みの分かち合い助け合い、助け合う仲間意識を持つよう働きかけ、参加メンバー間でお互いの存在が療法の支えとなり得る会を目指しています。
さらに、病気や医療・保健。福祉制度等に関する情報を取り入れながら、知識の普及・啓発と療養生活上の不安の軽減と問題解決に努め、患者・家族のQOL（生活の質）の拡大をめざしています。



活動内容

- ☆医療講演会、☆交流会
- ☆電話相談、☆会報発行、
- ☆行政への要望、
- ☆資料・ビデオの貸し出し

団体情報

- ◆世話人代表 金城 忠英
- ◆連絡担当 金城 忠英
- ◆電話 080-2719-4650
- ◆設立年 2006年
- ◆会員数 18名

沖縄クローン病潰瘍性大腸炎友の会（沖縄IBD）

活動目的
本会はクローン病や潰瘍性大腸炎を患っている人を対象とし、症状や食生活の情報交換を通じて再発防止に努め、より良く生きていくことを目的としています。



活動内容

- ☆毎月 第二水曜日 那覇・南部地区
第三火曜日 中部地区の定例会を行っています。
- ☆毎年、4月に総会、7月に交流会（ボウリング大会）
10月に調理実習、12月に忘年会を行っています。
- ☆年2回、会報誌を発行しています

団体情報

- ◆代表者 宮本 勝也
- ◆電話 090-8413-2621
- ◆設立年 1989年
- ◆メール k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
- ◆会員数 83名 賛助企業 2法人

○活動報告 患者会支援

(県内患者会・交流会活動のご紹介)

2020年3月末現在

全国膠原病友の会 沖縄県支部

活動目的

本会は、膠原病に関する正しい知識を高め、明るい療養生活を送れるように会員相互の親睦を図るとともに、膠原病の原因追求と治療法の確立、並びに社会的対策を促進することを目的とします。



活動内容

☆県支部総会の開催

☆毎月会員委員の親睦と情報交換の為の定例会の開催

☆専門医による医療講演会

☆機関紙「ゆうな」年2回発行

☆全国膠原病友の会及び支部長会議に県支部代表を派遣

団体情報

◆代表者 阿波連 のり子

◆連絡担当 阿波連 のり子

◆電話 090-1944-2441

◆設立年 1998年 4月

◆メール kougen.okinawa@gmail.com

◆サイト <https://sites.google.com/view/kougen-okinawa/>

◆ブログ <https://kougen-okinawa.blogspot.jp/>

◆会員数 75名

全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部

活動目的

全国パーキンソン病友の会は、「すべてのパーキンソン病患者は人間としての尊厳を侵されず、医学の進歩研究に寄与するとともに、療養生活の質の向上と社会啓発活動、相互の支援、親睦、および国内外の関係諸団体との交流を図り、パーキンソン病の根絶を目指して活動すること」を目的とし、患者、家族でつくられた、自主的に活動を行っている団体である。



活動内容

☆医療の研究体制の充実化と専門医の多数要請。

☆福祉の向上と関係各法の充足を促す。

☆パーキンソン病の社会的認識を高める。

☆支部の設立と活動の支援をする。

☆共通の要求を持つ他団体と連携を強める。

☆国外のパーキンソン病に関係する諸団体との連携や交流を進める。

☆機関紙を発行する。

☆その他、本会の目的達成に必要と認める事業。

団体情報

◆支部長 又吉 忠常

◆連絡担当 又吉 朝子

◆電話 090-8294-1974

◆FAX 098-988-9421

◆メール kaoru-5.24-momochan@ezweb.ne.jp

◆設立年 2004年

◆会員数 204名

全国筋無力症友の会 沖縄支部

活動目的

全国筋無力症友の会 沖縄支部は患者・家族交流会、医療講演会等を通じ、同様な悩みを持つ患者・家族に対し広く情報を提供するとともに、会員相互が支えあい、助け合う事により、それぞれのQOL(生活の質)向上を目的として会の運営を図ります。



活動内容

☆2011年12月17日設立総会

☆患者・家族の交流会

☆医療講演会

団体情報

◆支部長 上原 アイ子

◆連絡担当 上原 アイ子

◆電話 090-7479-8841

◆設立年 2011年12月17日

◆会員数 48名

○活動報告 患者会支援

(県内患者会・交流会活動のご紹介)

2020年3月末現在

沖縄県網膜色素変性症協会 (J R P S 沖縄)

活動目的

- ・私たちは自身で治療法の確立と生活の質の向上を目指します。
- ・私たちは、お互いの理解と信頼の下、支え合い、心のふれあいを大切にし安らぎのある支部を目指します。
- ・情報交換や勉強会等により、私たち自身の資質の向上を図ります。

活動内容

- ☆県支部総会の開催
- ☆毎月会の運営等、情報交換の為の役員会
- ☆専門医による医療講演会
- ☆会員交流会の定例実施

団体情報

- ◆会長 長嶺 房子
- ◆連絡担当
北部部会 伊良波 0980-53-1262
中部部会 又吉 090-3797-4125
南部部会 譜久島 080-1766-2669
八重山部会 平良 090-5081-5622
宮古部会 伊良波 090-8294-6174
- ◆設立年 2012年11月 3日
- ◆会員数 120名



【その他 患者会】

MS友の会（多発性硬化症・視神経脊髄炎患者・家族会）交流会 隔月（奇数月）

代表 仲里 清彦 連絡先：仲里 (090-8290-3569) メール：nakaza10@gmail.com

OPLL（後縦・黄色靭帯骨化症）友の会

代表 黒島 連絡先：黒島 (070-5413-8350)

脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会

代表 井上 栄治 連絡先：井上 (090-5937-5292)

沖縄サルコイドーシス友の会

代表 祖堅 善樹 連絡先：祖堅 (090-1941-5758) 仲榮眞 (090-6856-9274)

【交流会】会則がある団体は「患者会」、無い団体は「交流会」としています。

☆神経難病友の会八重山

代表 黒島 里枝 連絡先：黒島 (090-5470-7485)

☆八重山クロhn病・潰瘍性大腸炎患者・家族の集い

連絡先：内間 (090-9784-8219)

☆ギラン・バレー症候群・情報交換会

代表 山川 朝教 連絡先：山川 (080-3955-1663) 又は(LINE http://nav.cx/fi71J0)

☆四つ葉の会（宮古膠原病友の会）

代表 下地 ヒロ子 連絡先：下地 (090-5489-4109)

☆とうんがらの会（宮古神経難病・患者家族のつどい）

代表 砂川 泰彦 連絡先：砂川 (080-1536-9287)

☆脊髄小脳変性症・多系統委縮症 中部患者・家族会

代表 仲西 智春 連絡先：仲西 (090-9585-9259)

○横断的支援

- 定例会開催のお知らせ支援 毎月（会報誌・WEB・新聞）（周知、新規参加者拡大目的）
- ヘルスケア関連団体学習会（患者会リーダー向け学習） 開催2回 参加：延べ43名
- ピアソポーター養成講座 2019 参加 5名（スタッフ除く）
- 新規設立支援（原発性胆汁性胆管炎関連、下垂体関連、神経線維腫症、ギランバレー症候群）

○意思伝達装置関連機器 貸出事業

意思伝達装置関連機器の貸し出し事業は、難病による人工呼吸器装着に伴い、意で声の自身を思伝えられなくなった方々が意思伝達装置の購入に際し、事前に使用者本人との適合確認を目的に行ってています。

2019年度も購入を検討される多くの方がご利用され、「機器やスイッチの適合を事前に確認でき本人の状況に応じた機器選択ができる」と大変喜ばれています。

最近の傾向としては、毎年実施しているコミュニケーション支援勉強会を通じ、意思伝達装置本体もさることながら、その機器を動かす各種スイッチの重要性を訴えてきましたこともあり、ご利用者にスイッチが適合するかを試す目的の貸し出しが伸び、貸出累計件数の約4割に相当する42件の貸し出しがありました。

1台、1台が高額な意思伝達装置の購入にあたりましては、各団体様からのご助成や個人の皆様からのご厚志により揃え、拡充させて参りました。

多大なご支援を頂いたみな様へ深く御礼申し上げます。

意思伝達装置



視線入力装置
「マイトイビー」

伝の心 × 2台

レッツチャット × 7台

ペチャラ × 1台



トーキングエイド
For ipad × 1台

意思伝達用スイッチ各種、その他関連機器

- ・ブレスマイクスイッチ
- ・ピエゾマティックセンサスイッチ
- ・ポイントタッチスイッチ
- ・ファイバースイッチ

その他 10種類 計14種類

他オリジナル手作リスイッチ、手作りチャイム数種類

2019年度貸出 累計件数

104件

これまでの貸出機器贈呈の団体及び支援者

米国福祉事業協会(AWWA)様、沖縄国際婦人クラブ(OIWC)様、那覇西ロータリークラブ様、他匿名(5名)様

クラウドファンディングによる「マイトイビー」購入支援者(190件/240万円余)
皆さまのご支援でこのように貸出機器が充実し、利用者の方々に大変喜んで頂いています。
誠にありがとうございます！

○研修会・その他事業 (研修会事業)



事項	人数	日付	内容
「どうする？ 非常時の電源確保 意思伝達装置 体験実習」 (保健師向け)	25名	6/13	場所: 南部保健所 講師: 照喜名 通 非常時電源確保及び意思伝達装置の体験学習
「ピアソポーター養成講座」	5名	6/29	場所: アンビシャス事務所 講師: 富山大学 伊藤 智樹 先生 新潟病院 後藤 清恵 先生
メンタルマネジメント講座 「～こころとからだの セルフ・コントロール～」	4名	1/11 2/15 3/14	場所: アンビシャス事務所 講師: 沖縄国際大学 上田 幸彦 先生 ストレス解消法、マインドフルネス瞑想法など

(その他事業)

■ハローワーク出張就労相談会

ハローワーク那覇「難病患者就職センター」による出張就労相談会を実施。相談者の希望等をゆっくりお聞きし、その方に適した職探しのお手伝いを目的にしています。2019年度 9回実施 ご相談 延べ件数 10名

■看護学生実習

那覇看護専門学校・ぐしかわ看護専門学校 実習受け入れ 5月～11月各1日～2日間 実習者累計 19名

■難病医療相談会

①神経系疾患（渡嘉敷 崇 先生）
10月11日 相談者 3組

②循環器系疾患（當間 裕一郎 先生）
10月13日 相談者 1組

③肝臓系疾患（前城 達次 先生）
12月6日 相談者 3組



④消化器系（金城 福則 先生）
12月14日 相談者 1組

⑤膠原病系（比嘉 啓 先生）
2019年3月26日 相談者 4組



各専門医による個別無料相談
相談時間 1組30分

ご相談 延べ件数 12件

■ 監査報告 FINANCIAL REPORT

2020年 4月/5日

特定非営利活動法人アンビシャス
理事長 迫 幸治 殿

特定非営利活動法人アンビシャス

監事 大城 シリ 印

特定非営利活動法人アンビシャス 2019年度

監事は、特定非営利活動法人アンビシャスの2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度における事業報告書及び活動計算書及び貸借対照表を監査した結果、次のとおり報告いたします。

監査の方法及び概要

2019年度の会計帳簿及び領収書類などを閲覧し、必要事項について報告を受け監査を行いました。

活動計算書及び貸借対照表は、特定非営利活動法人アンビシャスの定義に従い、その財産及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

■アンビシャスの会計監査について■

特定非営利活動法人アンビシャスでは法人の監事1名が内部監査を行うとともに「大城税理士事務所」に依頼して、毎月の巡回監査を受けています。

■ 財務報告
2019年度 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	39,000		
賛助会員受取会費	1,710,000	1,749,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	2,843,640	2,843,640	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	15,000		
受取地方公共団体補助金	3,470,000	3,485,000	
4. 事業収益			
相談事業収益	8,479,502		
就労支援事業収益	1,583,885		
広報事業収益	7,358,408	17,421,795	
5. その他収益			
受取利息	71		
雑収益	614,533	614,604	
経常収益計			26,114,039
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	8,755,940		
法定福利費	1,125,334		
人件費計	9,881,274		
(2) その他経費			
売上原価	461,095		
作業・就労支援	598,408		
報償費	188,331		
印刷製本費	950,500		
旅費交通費	513,818		
通信運搬費	1,418,120		
消耗品費	3,851,012		
修繕費	37,870		
減価償却費	552,345		
地代家賃	714,444		
水道光熱費	138,512		
租税公課	28,200		
賃借料	100,800		
保険料	670		
研修費	21,952		
接待交際費	14,823		
支払手数料	157,640		
雑費	50,427		
その他経費計	9,798,967		
事業費計		19,680,241	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	3,040,012		
法定福利費	182,903		
福利厚生費	153,962		
人件費計	3,376,877		
(2) その他経費			
印刷製本費	132,387		
減価償却費	85,770		
地代家賃	111,108		
修繕費	7,218		
旅費交通費	66,548		
通信運搬費	126,828		
租税公課	145,342		
接待交際費	24,941		
消耗品費	655,599		
諸謝金	485,000		
支払手数料	94,401		
雑費	130,952		
その他経費計	2,066,094		
管理費計		5,442,971	
経常費用計		25,123,212	
当期経常増減額		990,827	
III 経常外収益			
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額		990,827	
法人税、住民税及び事業税	70,000		
当期正味財産増減額	920,827		
前期繰越正味財産額	13,430,235		
次期繰越正味財産額	14,351,062		

■ 財務報告

2019年度 貸借対照表

2020年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 アンビシャス

(単位：円)

科 目	金 領		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,399,150		
棚卸資産	78,810		
前払費用	116,680		
未収金	2,281,445		
未収還付法人税等	3		
立替金	31,918		
流動資産合計		12,908,006	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	365,477		
その他の有形固定資産	228,319		
有形固定資産計	593,796		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	411,834		
無形固定資産計	411,834		
(3)投資その他の資産			
投資有価証券	3,000,000		
投資その他の資産計	3,000,000		
固定資産合計		4,005,630	
資産合計			16,913,636
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	987,753		
未払費用	973,380		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	474,900		
預り金	56,541		
流動負債合計		2,562,574	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,562,574
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	13,430,235		
当期正味財産増減額	920,827		
正味財産合計		14,351,062	
負債及び正味財産合計			16,913,636

■ 財務報告

2019年度 財産目録

2020年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 アンビシャス
(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	45,570	
沖縄銀行普通預金	2,922,159	
沖縄海邦銀行普通預金	2,682,255	
沖縄海邦銀行普通預金	791,966	
沖縄海邦銀行普通預金	2,682,467	
ゆうちょ銀行振替口座	474,587	
ゆうちょ銀行通常貯金	559,267	
琉球銀行普通預金	195,739	
沖縄労働金庫普通預金	45,140	
棚卸資産		
販売用電源装置	37,560	
販売用指笛	41,250	
前払費用		
4月分家賃	55,000	
4月分駐車料金	18,000	
次期航空運賃	40,680	
次期会費	3,000	
未収金		
地方公共団体委託金	1,511,000	
広告掲載収益	630,000	
未精算経費・事務委託料	127,444	
クレジットカード・コンビニ決済寄付	13,000	
販売未収備忘額	1	
未収還付法人税等		
当年度還付法人税等	3	
立替金		
備品購入代	22,949	
個人負担雇用保険料	8,969	
流動資産合計	12,908,006	
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品		
貸与用備品	180,936	
事務所備品	184,541	
その他の有形固定資産		
事務所備品	228,319	
有形固定資産計	593,796	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
ウェブサイト	411,834	
無形固定資産計	411,834	
(3) 投資その他の資産		
投資有価証券		
株パートナー	3,000,000	
投資その他の資産計	3,000,000	
固定資産合計	4,005,630	
資産合計	16,913,636	
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
2~3月分カード決済諸経費	371,930	
3月分販売商品仕入	204,325	
3月分後納郵便料	182,073	
3月分会報誌印刷料	82,500	
3月分コピーカウンター料	62,608	
3月分消耗品代	36,651	
3月分税理士報酬	35,068	
3月分水道光熱費	9,075	
3月分未精算経費	3,523	
未払費用		
3月分給与	973,380	
未払法人税等		
当年度法人税等	70,000	
未払消費税等		
当年度消費税等	474,900	
預り金		
源泉所得税	56,541	
流動負債合計	2,562,574	
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計	2,562,574	
正味財産	14,351,062	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

1. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

2. 固定資産の減価償却方法

定率法を採用しております。

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税抜方式を採用しております。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

科 目	相談事業	就労支援事業	広報事業	合計
(1) 人件費				
給料手当	7,452,440	7,500	1,296,000	8,755,940
法定福利費	906,301	68	218,965	1,125,334
人件費計	8,358,741	7,568	1,514,965	9,881,274
(2) その他経費				
売上原価	235,250	225,845	0	461,095
作業・就労支援	0	0	598,408	598,408
報償費	96,284	43,000	49,047	188,331
印刷製本費	0	0	950,500	950,500
旅費交通費	480,536	4,656	28,626	513,818
通信運搬費	242,678	1,615	1,173,827	1,418,120
消耗品費	3,328,602	239,607	282,803	3,851,012
修繕費	37,870	0	0	37,870
減価償却費	306,081	48,584	197,680	552,345
地代家賃	661,311	53,133	0	714,444
水道光熱費	138,512	0	0	138,512
租税公課	0	28,200	0	28,200
賃借料	100,800	0	0	100,800
保険料	0	670	0	670
研修費	21,952	0	0	21,952
接待交際費	14,823	0	0	14,823
支払手数料	0	157,640	0	157,640
雑費	36,438	385	13,604	50,427
その他経費計	5,701,137	803,335	3,294,495	9,798,967
合 計	14,059,878	810,903	4,809,460	19,680,241

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は14,351,062円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
RDD開催助成金		15,000	15,000		世界希少・難治性疾患の日（RDD）公認開催助成金
沖縄県補助金		3,470,000	3,470,000		沖縄県難病患者人口呼吸器用外部バッテリー等貸与事業の補助金
合計	0	3,485,000	3,485,000	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	3,107,117	0	2,869	3,104,248	△ 2,738,771	365,477
その他の有形固定資産	126,636	279,160	0	405,796	△ 177,477	228,319
無形固定資産				0		
ソフトウェア	988,400	0	0	988,400	△ 576,566	411,834
投資その他の資産				0		
投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000		3,000,000
合計	7,222,153	279,160	2,869	7,498,444	△ 3,492,814	4,005,630

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
広報事業収益	7,358,408	0	5,616,159
給料手当（事業費）	8,755,940	4,558,800	0
活動計算書 計	16,114,348	4,558,800	5,616,159
(貸借対照表)			
未収金	2,281,445	0	500,000
貸借対照表 計	2,281,445	0	500,000

■寄付金一覧 2019年度

CONTRIBUTION LIST 2019

通常寄附 (2019年4月1日～2020年3月31日)

月	日	名 前	金 額
1	4 3	新垣 真理子	10,000
2	4 3	匿名	2,000
3	4 16	匿名	30,000
4	4 19	上原 実	4,000
5	4 22	匿名	1,000
6	4 22	かりゆしグループ	3,000
7	4 24	宮里 政也	3,000
8	5 10	驥尾の会(4月分)	8,500
9	5 15	株式会社アイピーエス	1,399
10	5 15	木村 浩一郎(はがき・切手)	8,152
11	5 21	匿名	1,000
12	5 21	かりゆしグループ	3,000
13	5 29	イオン琉球株式会社	198,154
14	6 10	匿名	2,000
15	6 14	薬膳琉花	2,226
16	6 17	イオン琉球株式会社	185,846
17	6 20	驥尾の会(5月分)	8,500
18	6 21	株式会社いなんせ典礼	120,000
19	7 1	宮里 政也	3,000
20	7 16	田名 毅	30,000
21	7 16	首里城下町クリニック第一	30,000
22	7 16	首里城下町クリニック第二	30,000
23	7 19	驥尾の会(6月分)	8,000
24	7 22	豚骨拉麺 昇家	14,483
25	7 22	匿名	1,000
26	7 22	西崎オートサービス	11,340
27	7 25	匿名(はがき・切手)	6,796
28	7 26	株式会社サンシャイン	121,000
29	8 8	驥尾の会(7月分)	9,000
30	8 8	有限会社 育英堂書房	4,200
31	8 9	ピュアペットクリニック	40,000
32	8 21	當眞 則子(はがき)	3,200
33	8 21	匿名	1,000
34	8 28	金城 伸郎(はがき)	1,911
35	9 2	匿名	2,000
36	9 3	有限会社セイアン	20,000
37	9 6	驥尾の会(8月分)	8,500
38	9 6	匿名	3,000
39	9 19	匿名	2,000
40	9 20	匿名	6,000
41	9 24	匿名	1,000
42	9 26	匿名	5,000
43	9 27	驥尾の会(9月分)	8,500
44	10 1	久高 節子	2,000
45	10 1	長堂 昌太郎	10,000
46	10 10	匿名(物品:切手)	2,520
47	10 11	高良 久美子	14,000
48	10 11	マリンショップぶくぶく	4,882
49	10 16	匿名	5,000
50	10 17	株式会社メガネ一番	392,265

月	日	名 前	金 額
51	10 21	匿名	1,000
52	10 21	TAZUKO FERGUSON	21,504
53	10 24	比嘉 晶子(切手)	224
54	10 25	匿名	3,000
55	11 6	驥尾の会	91,653
56	11 7	驥尾の会(10月分)	11,000
57	11 11	匿名	30,000
58	11 13	大城 かおり(はがき)	3,484
59	11 15	城間 博子	5,000
60	11 18	匿名	2,000
61	11 21	匿名	1,000
62	11 22	驥尾の会(11月分)	8,500
63	12 2	阿部 敬子	200,000
64	12 9	匿名(切手)	3,360
65	12 14	金城 福則	5,500
66	12 17	首里キヤッスルライオンズ	50,000
67	12 21	高橋 美智代	30,000
68	12 23	打田 寛臣	3,000
69	12 23	匿名	1,000
70	12 23	花 野原順子	1,750
71	12 27	匿名	2,000
72	1 6	驥尾の会(12月分)	8,000
73	1 9	匿名	2,000
74	1 11	匿名	3,000
75	1 16	てだこボウル	8,104
76	1 20	匿名	3,000
77	1 21	匿名	1,000
78	1 23	匿名(切手・はがき)	2,340
79	1 24	株式会社サンシャイン	131,000
80	1 28	上原 愛(はがき)	2,079
81	1 31	つながる募金	100
82	2 3	驥尾の会(1月分)	9,500
83	2 3	匿名	2,000
84	2 3	匿名	10,000
85	2 10	コザクリニック	5,180
86	2 11	匿名	3,000
87	2 15	匿名	3,000
88	2 21	匿名	1,000
89	2 28	驥尾の会(2月分)	8,000
90	3 4	匿名	3,000
91	3 6	上原 主生	10,000
92	3 23	匿名	1,000
93	3 26	有限会社 FECオフィス	5,141
94	3 27	驥尾の会(3月分)	8,500
95	3 27	匿名	2,000

【小 計】 2,100,293

2019年8月9日～10月4日
クラウドファンディングよりの寄付

名 前	金 額
1 machiko	3,000
2 匿名	3,000
3 しょうえい	3,000
4 木村りえ	3,000
5 伊藤智樹	3,000
6 M&M	3,000
7 木村浩一郎	3,000
8 比嘉茂幸	3,000
9 akamine	3,000
10 中田郷子	3,000
11 丸本康博	3,000
12 匿名	3,000
13 pug	3,000
14 宇栄原千春	3,000
15 玉城浩江	3,000
16 瀬良垣香織	3,000
17 miki39kanta	3,000
18 サッチー	3,000
19 あいちゃん	3,000
20 加賀谷 明	3,000
21 谷口三千代	3,000
22 匿名	3,000
23 北岡 いずみ	3,000
24 眠りねずみ	3,000
25 永森志織	3,000
26 さーちゃん	3,000
27 248	3,000
28 匿名	3,000
29 なおじ	3,000
30 どうま かずたか	3,000
31 さおりん	3,000
32 KMAN	3,000
33 西原智子	3,000
34 阿波連のり子	3,000
35 くろ	3,000
36 知念忠彦	3,000
37 おにく	3,000
38 あらちゃん	3,000
39 前原 貴子	3,000
40 匿名	3,000
41 匿名	3,000
42 匿名	3,000
43 匿名	3,000
44 大曲純子	3,000
45 匿名	3,000
46 匿名	3,000
47 ほの	3,000
48 仲村貞郎	3,000
49 潮 ゆいな	3,000
50 匿名	3,000

※日付順に掲載 ※敬称は省略させて頂きます。※お名前の開示は承諾を得ています。

■寄付金一覧 2019年度

CONTRIBUTION LIST 2019

クラウドファンディングよりの寄付 (2019年8月9日～10月4日)

	名前	金額
51	ユウジ	3,000
52	TADASHI HONDA	3,000
53	比嘉直哉	3,000
54	モモ	3,000
55	shopi	3,000
56	宮道喜一	3,000
57	えりざべす伴子	3,000
58	匿名	3,000
59	平仲 唯	3,000
60	レオ@チワワ	3,000
61	久高せいや	3,000
62	サカイカオル	3,000
63	育子	3,000
64	あべべ	3,000
65	池崎悠	3,000
66	上原理子	3,000
67	ももはら	3,000
68	渡邊善広	3,000
69	喜久里昂哉	3,000
70	snowchura	3,000
71	なかねけんさく	3,000
72	平良斗星	3,000
73	みいやー	3,000
74	小田エリア	3,000
75	上園 海(まりん)	3,000
76	匿名	3,000
77	Takahiko Watase	3,000
78	chikaocam	3,000
79	奥間	3,000
80	木島律子	3,000
81	祖田理恵	3,000
82	匿名	3,000
83	西土井広美	3,000
84	志良堂 仁	3,000
85	宮城 真理子	3,000
86	小岩井 順子	3,000
87	特になし	4,000
88	國吉有子	4,000
89	澤田和英	5,000
90	もっちゃん	5,000
91	にゃんごろー	5,000
92	広野 ゆい	5,000
93	八重山保健所	5,000
94	島田千穂	5,000
95	金城悦史	5,000
96	匿名	5,000
97	tamaya	5,000
98	嘉村 郁子	5,000
99	喜島 智香子	5,000
100	おもと会訪問リハビリテーション	6,000

	名前	金額
101	上原拓磨	6,000
102	座波円	6,000
103	田港啓康	6,000
104	松田りつ子	9,000
105	新城尚子	9,000
106	宇敷晶子	9,000
107	仁科恵美子	10,000
108	堀川新二	10,000
109	としとしとしろう	10,000
110	高瀬健一	10,000
111	RINA ONAHA	10,000
112	大塚一美	10,000
113	當山貴史	10,000
114	野田優子	10,000
115	岸紀子	10,000
116	黒川久里子	10,000
117	TOMOKO YOSHIOKA	10,000
118	上地賢	10,000
119	比嘉 盛丈	10,000
120	匿名	10,000
121	上杉直世	10,000
122	梶田 修	10,000
123	山川朝教	10,000
124	岩本利恵	10,000
125	o-koseki	10,000
126	上田 肇	10,000
127	吉田裕子	10,000
128	小阪亘	10,000
129	Daiya Miyazato	10,000
130	山内 美幸	10,000
131	松尾光晴	10,000
132	りよお	10,000
133	名城 佳枝	10,000
134	原田 久光	10,000
135	横井徹	10,000
136	石川聖子	10,000
137	樋口 美智子	10,000
138	金城均	10,000
139	川元知行	10,000
140	(医)麻の会	10,000
141	高良尚子	10,000
142	森 幸子	10,000
143	安富祖仁、歩美	10,000
144	石嶺伝羽	10,000
145	浅野 とも子	10,000
146	ととととっしー	10,000
147	諸喜田	10,000
148	竹島 和賀子	10,000
149	上原愛	10,000
150	金城理佳	10,000

	名前	金額
151	匿名	10,000
152	備瀬 咲都子	10,000
153	久志 篤子	10,000
154	上地治子	20,000
155	野村明子	30,000
156	cielo	30,000
157	酒井ひとみ	50,000
158	山城 健	100,000
159	上地 正実	100,000

【小計】 1,172,000

経費(返礼品他) 428,653

クラウドファンディング寄付(実費)

【計】 743,347

■ 2019年度寄付総額

2,843,640 円



イオン幸せの黄色いレシート 寄付贈呈式



サンシャインゆいまーる 寄付贈呈式



メガネ一番 寄付贈呈式

※日付順に掲載 ※敬称は省略させて頂きます。※お名前の開示は承諾を得ています。

■2019年度 賛助会員

法人賛助会員(10,000円/年)

	法人名 (あいうえお順) 敬称略
1	訪問看護リハビリステーション happiness
2	株式会社 K.Turtles
3	有限会社 麦飯石の水
4	株式会社アイアム
5	愛聖クリニック
6	愛知クリニック
7	株式会社アクティブ
8	合資会社新垣自動車工業
9	訪問看護ステーションあんじゅ
10	いくみ皮ふ科クリニック
11	伊佐内科クリニック
12	いちょう内科あしとみ
13	稻福内科医院
14	株式会社いなんせ典礼
15	浦添さかい眼科
16	嬉野が丘サマリア人病院
17	訪問看護ステーションうんな
18	訪問看護ステーションエール～応援～
19	エクスプロア訪問看護ステーション
20	訪問看護ステーション縁
21	沖映通り眼科
22	おおにし医院
23	大宮医院
24	岡野法律事務所
25	社団法人沖縄県栄養士会
26	沖縄トヨペット株式会社
27	有限会社沖縄矢崎販売
28	沖縄病院
29	沖縄メディカル訪問看護ステーション
30	訪問看護ステーションおもとよみの杜
31	おもと会 統括リハビリテーション部
32	オリオンビール株式会社
33	恩納クリニック
34	かなさん内科クリニック
35	かなしろ内科
36	神谷医院
37	かりまた内科医院
38	岸本外科医院
39	きなクリニック
40	株式会社クオサ
41	くすみ薬局
42	株式会社ケアコネクト
43	株式会社ケイオーパートナーズ
44	玄米クリニック
45	こころクリニック
46	訪問看護ステーションこころのかて
47	コザクリニック
48	こばし内科クリニック
49	サザン歯科まえだ
50	株式会社ざまみダンボール
51	さわやか歯科クリニック
52	サンクス
53	潮平病院
54	株式会社システムライフ
55	じのん整形外科クリニック
56	下地第2脳神経外科
57	しゆくみね内科
58	首里城下町クリニック第一
59	首里城下町クリニック第二
60	城間クリニック

	法人名 (あいうえお順) 敬称略
61	株式会社 舜
62	しんざと内科
63	すながわ内科クリニック
64	聖隸訪問看護ステーションゆい
65	全保連株式会社
66	空と海クリニック
67	株式会社大成ホーム
68	有限会社太陽印刷
69	有限会社タカラ
70	高良登記測量事務所
71	たつや脳神経外科
72	中部協同病院
73	中部地区医師会 訪問看護ステーション
74	テルモ株式会社沖縄支店
75	株式会社長堂材木店
76	長瀬眼科
77	なかむら内科おなかクリニック
78	仲本病院
79	株式会社名城
80	那霸かなぐすく皮膚科
81	南西医療器株式会社
82	南部徳洲会病院
83	日本交通株式会社
84	ねたて内科
85	株式会社パートナー
86	ハートライフ病院
87	ハーモニー薬局寄宮店
88	はいさいクリニック
89	訪問看護ステーションはっぴー
90	はびなす訪問看護ステーション
91	はびねす訪問看護ステーション
92	比嘉歯科医院
93	光クリニック
94	訪問看護ステーションふくじ
95	ふたば訪問看護ステーション
96	有限会社プログレス
97	外間眼科
98	外間眼科医院崇元寺
99	有限会社北辰ハウジング
100	北部皮フ科クリニック
101	前田胃腸科医院
102	牧港眼科
103	又吉内科クリニック
104	まつおTCクリニック
105	松城クリニック
106	松本歯科クリニック
107	まなざし訪問看護ステーション
108	嶺井第一病院
109	まみ皮フ科クリニック
110	訪問看護ステーションみかん
111	みやぐに皮ふ科
112	株式会社メガネ一番
113	友愛会訪問看護ステーション
114	ゆずりは訪問診療所
115	琉球ダイハツ販売株式会社
116	りんご調剤薬局浦西店
117	和ごころ薬局さつき店

■2019年度 賛助会員

法人賛助会員数 117団体
個人賛助会員数 179名
賛助会員合計 296会員

個人賛助会員(3,000円/年)

		お名前	(あいうえお順)	敬称略		
1	安慶名 美智代	46 知花 なおみ	91 匿名	136 匿名		
2	天久 佑希子	47 津嘉山 寛治	92 匿名	137 匿名		
3	新垣 恵子	48 照屋 一	93 匿名	138 匿名		
4	石原 美津子	49 照屋兼一	94 匿名	139 匿名		
5	井藤 善夫	50 桃原 美智江	95 匿名	140 匿名		
6	糸数 昌洋	51 友利 潤子	96 匿名	141 匿名		
7	稻福 ちあき	52 豊川 すみえ	97 匿名	142 匿名		
8	伊元 明徳	53 仲西 智春	98 匿名	143 匿名		
9	上里 旬	54 長嶺 房子	99 匿名	144 匿名		
10	上原 アイ子	55 仲村 明	100 匿名	145 匿名		
11	宇田 薫	56 仲村 みどり	101 匿名	146 匿名		
12	打田 寛臣	57 根間 陵彰	102 匿名	147 匿名		
13	浦添 智也	58 花城 廣	103 匿名	148 匿名		
14	大城 逸子	59 比嘉 彩子	104 匿名	149 匿名		
15	大城 薫	60 比嘉 利典	105 匿名	150 匿名		
16	大嶺 裕司	61 比嘉 道江	106 匿名	151 匿名		
17	金井 正明	62 比嘉 佑一郎	107 匿名	152 匿名		
18	川口 美怜	63 東 与一	108 匿名	153 匿名		
19	岸本 綾乃	64 日野 成子	109 匿名	154 匿名		
20	岸本 克巳	65 譜久村 良三	110 匿名	155 匿名		
21	岸本 克守	66 藤江 光子	111 匿名	156 匿名		
22	岸本 時江	67 渕辺 美紀	112 匿名	157 匿名		
23	岸本 智子	68 富名腰 一郎	113 匿名	158 匿名		
24	宣保 菊江	69 富名腰 義裕	114 匿名	159 匿名		
25	金城 けい子	70 平敷 隆	115 匿名	160 匿名		
26	金城 福則	71 前嶋 裕子	116 匿名	161 匿名		
27	金城 光子	72 前田 真顕	117 匿名	162 匿名		
28	久志 勇	73 宮城 ふじみ	118 匿名	163 匿名		
29	國吉 優紀	74 宮城 義正	119 匿名	164 匿名		
30	黒木 恵子	75 宮里 政也	120 匿名	165 匿名		
31	近藤 力	76 武藤 徹太郎	121 匿名	166 匿名		
32	崎原 強	77 森山 玲子	122 匿名	167 匿名		
33	座波 一起	78 山口 勝	123 匿名	168 匿名		
34	塙川 徹	79 屋良 幸助	124 匿名	169 匿名		
35	島尻 信雄	80 吉田 晋介	125 匿名	170 匿名		
36	下地 一明	81 渡邊 利絵	126 匿名	171 匿名		
37	下地 勝子	82 匿名	127 匿名	172 匿名		
38	新城 彩乃	83 匿名	128 匿名	173 匿名		
39	澤嶺 義英	84 匿名	129 匿名	174 匿名		
40	田中 碧	85 匿名	130 匿名	175 匿名		
41	田港 華子	86 匿名	131 匿名	176 匿名		
42	玉城 つね子	87 匿名	132 匿名	177 匿名		
43	知念 江利美	88 匿名	133 匿名	178 匿名		
44	知念 敏子	89 匿名	134 匿名	179 匿名		
45	知花 智	90 匿名	135 匿名			

* お名前の開示は加入時承諾を頂いています。

個人賛助会員 179名

募金箱設置協力店

(順不同 敬称略)

フォーモストブルーシール北谷店	沖縄トヨペット株式会社港川店
MISTY本店	沖縄トヨペット株式会社中部店
T.TBOWLてだこ	沖縄トヨペット株式会社小禄サザン店
西崎オートサービス	串焼き屋あだん
マリンショップふくぶく	山城二輪
花野原	社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部
ホテルまるき	全保連株式会社
水のサンクス	全保連コントロールセンター
株式会社メガネ一番(全店)	シャトル・ケア
株式会社琉薬	有限会社だいにちシール
恒和ペイント株式会社	オリオンビール株式会社
さわやか歯科クリニック	マヤMAYA
auショッピング久茂地店	株式会社かりさら
沖縄県栄養士会	上間菓子店
T-SHIRT-YA.COM国際通り店	HAIR & MAKE EARTH沖縄新都心店
T-SHIRT-YA.COM北谷店	2DATOP(ツダトップ)ダンススタジオ
カラカラとちぶぐわ～	株式会社いなんせ典礼
ジョッキハウス	ギャラリーカフェ 海ばたー
しゃしんやきんちゃんDigi-pit店	照正組
日本交通株式会社	株式会社 K. Turtles
有限会社 FECオフィス	メガネ一番 各店(21店舗)



計 62店(メガネ一番21店舗含む)

2019年度募金箱よりの寄付

合計金額 122, 474円

募金箱を設置ご協力の皆様！
ご来店のお客様及びスタッフの皆様の
ご支援に深く感謝申し上げます。

■謝辞

2019年度、アンビシャスは95件の寄付に加えクラウドファンディングよりの支援を含め284万円余りの寄付をいただきました。

皆様の心温まるご支援により、難病を持つ方々への難病情報誌の提供や医療講演会等の支援活動を行うことができました。またクラウドファンディングよりのご净財は難病患者の就労支援策として始めた沖縄指笛の製作機材の購入費として活用させていただいています。

皆様のご支援に改めて厚く御礼を申し上げます。

苦境におかれたりびとに援助を届けることを可能にしてくださった皆様のご厚志に、心より感謝申し上げます。

会報誌広告掲載（順不同） 敬称略

全保連株式会社
土地家屋調査士 伊波 学
株式会社クオサ
沖縄トヨペット株式会社
首里城下町クリニック
大塚製薬株式会社
琉球ゴールデンキングス
みくに株式会社材

ホームページ協賛広告（順不同） 敬称略

アステラス製薬株式会社
全保連株式会社
岡野法律事務所
ファイザー株式会社

研修会支援（交通費等支援） 敬称略

ファイザー株式会社
アステラス製薬株式会社

5万円以上寄付者（順不同） 敬称略

トヨペット株式会社
株式会社 サンシャイン沖縄
全保連株式会社
首里城下町クリニック
驥尾の会（模合参加500円）

イオングループの黄色いレシート
首里キャッスルライオンズクラブ
いなんせ典礼
株式会社メガネ一番
阿部 敬子

誌面で入りきれない数多くの皆様に感謝申し上げます。

理 事
Board Members

理事長
President

迫 幸治
Yukiharu Sako

副理事長
Vice President

照喜名 通
Toru Terukina

仲嶺 朋広
Tomohiro Nakamine

上原 実
Minoru Uehara

岡野 浩巳
Hiromi Okano

與那城 圭
Kei Yonashiro

田名 穀
Takeshi Tana

小阪 亘
Wataru Kosaka

監 事
Controller

大城 浩
Hiroshi Ooshiro

事務局長
General Director

仲村 明
Akira Nakamura

(2020年3月末現在)

アンビシャスについて

アンビシャスは2001年に設立され、2002年に特定非営利活動法人(NPO法人)として沖縄県の認証を受け、2009年より認定NPO法人として認定を受けています。

活動をご支援ください

アンビシャスの活動は、皆様からの寄付で実現しています。私達とともに、難病の方を救う力となってください。

寄付の申し込み・資料請求は

電話 098-951-0567 (10:00~17:00 平日)

www.ambitious.or.jp

アンビシャスは、「認定NPO法人」として沖縄県より認定をうけています。アンビシャスへの寄付は、所得税、法人税などの優遇処置の対象となります。